

授業改善プラン

特別支援教科（ 国語 ）

学力調査・定期考査・生徒の授業アンケート・授業の様子から分析して作成する。改善策として ICT の活用を導入するものは太字

| | 観 点 | 1 学期 | 2 学期 | | 3 学期 | 小中一貫の 取組 |
|-----|-------------------|---|--|---|---------------------|-------------|
| | | 今年度の取組 昨年度の課題から | 分析 | 具体的な改善策 | 改善プランの評価 来年度に向けて | |
| 全学年 | 知識・技能 | <ul style="list-style-type: none"> 知識の定着のため、反復練習し、毎時間漢字テストに取り組む。 手本を見て視写したり、字を正しく丁寧になぞり書きしたりする。 クロムブックを使い、漢字の筆順や意味、熟語を調べて学習する。 | <ul style="list-style-type: none"> 書き方を間違えて覚えている漢字がある。似た文字や同音漢字と間違えることがある。 字を乱雑に書くことがある。 クロムブックを使って調べることはできるが、知識の定着には課題が見られる。 | <ul style="list-style-type: none"> 点画の誤字は、一緒に書く、なぞるなど教員が個に合わせてサポートする。 クロムブックで調べた上で、意味を確認し、熟語や例文にして使ってみる。 ゆっくり丁寧に書くことを意識して練習させる。 | | |
| | 思考力・判断力 表現力 | <ul style="list-style-type: none"> 気持ちを表す単語や例文を用意し、選べるようにする。 グループで話し合う活動や、動きを伴う体験型の活動を取り入れ、自分の思いや気持ちを発言できるようにする。 | <ul style="list-style-type: none"> 自分の気持ちを表すための語彙が少ない。 語彙が少なく、説明するための言葉が出にくい場面がある。 理由を伝えるための思考力に課題がある。 | <ul style="list-style-type: none"> 気持ちを表す単語群や例文を用意し、選べるようにする。 視覚教材を補助的に用いる。 語彙を増やすゲームを取り入れて、言葉の幅を広げる。 | | |
| | 主体的に学習に 取り組む態度 | <ul style="list-style-type: none"> 興味・関心の高い文章教材や、視覚教材を補助的に用いる。 個に応じた道具や教材を使い、「できる」、「わかる」ことを増やしていく。 | <ul style="list-style-type: none"> 興味のある内容に対しては、前向きに取り組む姿勢が見られる。 視覚教材や会話を用いた学習に対しては意欲が見られる。 | <ul style="list-style-type: none"> 興味・関心の高い教材を用いる。 ネットアプリやゲーム、ビンゴを取り入れることで楽しんで学習を進める工夫を行う。 | | |

カリキュラムマネジメントの視点から
教科横断的な視点から教育活動の改善を図る。